

# 石城時報

編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
發行所 石城時報社  
一部金貳圓 一月金五圓  
廣告料 一行十二字計五錢  
日刊(日曜除日) 至日休刊

## 寢耳に水の解散で 狼狽した地方民

### 早くも候補者の 話題で賑はふ

衆議院は三十一日午前十一時山田六郎氏が釘本衛雄時十分突然解散となつた。氏あたりには譲るべきはない。更之を知らず石城地方の人々に前回落選した星一氏、植之は全く寢耳に水の事なる松原氏の両出馬も確定的で驚き一方でなく政黨方面で、この外北部から太田秋に關係のある人々は右左之助、古川傳一、小野晋平往の狼狽ぶり選挙民も亦佐藤庄太郎、野崎滿藏氏等多大の關心を持ち早くも近の呼聲も高きから何れに行はるべき選挙に對しても大混戦を豫想される筋。話題に花を咲かしてゐるが多い。

### 總選舉は 四月三十日

候補者として名乗りをあげた人は第三區濱通りに於ては比佐昌平、鈴木辰三郎の議會解散による總選舉は四月兩氏の出馬は確定的と見られ三月三十日行はれる事になつれ、氏家清氏は或ひは引退した。

## 小檜山磐中校長 福島に榮轉

### 齋藤教諭校長に榮進

磐城中學校校長小檜山久作氏は三十一日付で福島中學校長に榮轉し、後任磐中校長は相馬中學校長淺水成吉郎氏が來任する事になつた。記駐在巡查の異動を行つた。尚ほ磐中首席齋藤榮一氏は田村中學校長に拔擢された。

### 御概(渡邊貞夫) 好間村 北好間(新設鹿島井上潔) 小名濱町漁業組合(前願古 港鈴木繁次、古港赤井) 緑川利夫、鹿島(漁業請願) 鈴木長吾、赤井(豊間) 芳賀平三郎、豊間(玉川) 金澤昌司

## 依米共販

出荷千四百余俵  
石城販聯の定期依米共販は一日行ふが、出荷俵數左の長席席した。

## 石城貨物自動車業 聯盟 生る

### 廿九日發開式を擧ぐ

従来トラック業者の綜合機關事業發展上不便を來し居たるも燃料調製による揮發油の暴騰及鐵鋼材の値上等に遭恩し運賃の値上を決定し、現下には自家用にて營業行為をなすもの續出し是等業者に依りて協定料金も概亂され實施困難の虞れあり、疲弊困憊せるトラック自動車業に對する當局の認識を昂める一方大同團結して斯業の確保に邁進すべく所謂自力更生の必要上郡下同業者六十名は二十三日小名濱町錦盛館に會同し盛大なる發會式を擧げ左の役員を推擧せり。  
石城貨物自動車業聯盟會を開く。

### 平署管内 巡查異動

三十一日付平署では管内左記駐在巡查の異動を行つた。  
赤井高秋(前任地飯沼)佐々木忠次郎、飯野(内郷)

## 江名町議選舉 結局無競争か

### 目下の處一名超過

石城郡下のトップを切つて行はれる江名町々會議員選舉は愈々來る五日に切迫したので候補者は漸く出揃つた。同町の定員は十八名であるが、候補者は左の如く十九名で一名超過であるが結局は妥協して一名が引退するではないかと見られてゐる。

### 村山辰次郎、黒川喜一郎 加澤一造、小松金十郎、 吉原龜吉、鈴木一(新)、 金成喜重、佐藤己藏、江 尻藤次郎、△松戸區 清左工門、△中三作區 坂本萬藏(新)、遠藤勝馬 吉田貞吉(新)、△永崎 作山一郎、作山庄司、酒 井百恵(新)、△下神白區 馬目淺吉(新)、上神白區 伊藤主税

## 子供可愛 泥棒を働らく

### 平署員も同情

内郷村大字綴字堀坂左官職器チャンネル一個二十圓を奥山春松(四一)同山下良吉窃取せんとしたのを平署員(六三)の兩名は去る二十二に逮捕された、取調べると日夜十一時頃湯本町入山炭奥山は十一歳を頭に五人の礦倉庫から二十餘貫の旋風子供を持ち貧しい家庭で、

## 平小學校受賞者

(五)

一組	渡邊洋子	根本 和子	吉田 トシ	藤原 文子
二組	村田 淑子	酒井 富美子	丹野 孝子	西野 秀子
三組	眞柄美代子	青木 寛子	藤原 英一	藤原 義一
四組	小宅 マリ子	荒木 眞子	藤原 義一	藤原 義一
五組	志賀タカ子	安藤 眞子	藤原 義一	藤原 義一
六組	竹内 初枝	安藤 眞子	藤原 義一	藤原 義一

### 秋原家慶事

平町秋原申八氏長男師夫(二五)氏は松野尾敏雄氏天妻の媒で水戸市山崎金次郎氏長女花子さんと婚約整ひ三十日縣社子銀神社に於て華燭の盛典をあげ、四月一日午後三時住吉屋本店に於て披露の宴を張る。

## 坂本氏逝く

平町一丁目坂本紙店主人坂本隆藏氏は二十七日發病し加療中であつたが二十九日午後四時死去した。享年六十一歳。氏は平町會議員三期、勤めた外平町庶民金庫監事、平市制調査會部部長の位置にあり、平町實業界、政界方面の大立物であつた。氏は又多趣味の人で、登山、號樂、社會、向古會長に推され、觀世會長、春樹協會支部長等凡ゆる方面に於て知られてゐた人である。  
葬儀は四月一日午後二時自宅出棺性源寺に於て佛式に清吉(二七)の石炭積みより。

## 自動車送檢

内郷村宮澤地内金取通りで去る二十三日白杉杉山炭礦坑夫の子供橋本涉(六)少年を轢殺したトラックについで平署では事故發生當時同所を通過した小名濱町、湯本町を引致して取調べ中であつたが、その中湯本町三田村徳三郎方運轉手高槻宅出棺性源寺に於て佛式に清吉(二七)の石炭積みより。

### 石城教育會賞

一組	長谷川國男	松本 行男	藤原 義一	藤原 義一
二組	生田日福也	今山 力男	藤原 義一	藤原 義一
三組	志賀 俊之	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一
四組	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一

### 平小學校受賞者

一組	藤原 文子	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一
二組	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一
三組	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一
四組	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一	藤原 義一

### 通學服

小國民の體位向上には  
國策が生きた  
強くて安

### 愛國健康服

特約店 三井吳服店 電話 3284  
雜貨部

### 愈々新學期近し

手提鞆!!  
ランドセル  
入學用品!!

列陳富豊

ヤルツ

〇四一電

### 定評ある大塚の靴

男女學生靴...大賣出し  
小學生通學靴各種

### 月星

（型の良し將校ゴム長靴）  
〔舗装道路にゴム半長〕

平・田町銀座通り

大塚

小商店員  
十四五才より  
四五名募集  
時代の營業明細面談  
電話七十七番

### 御知らせ

◎御料理、旅館、御下宿等營業向の借家が有ります。

◎場所：關倉新町（天夫坂元山ノ湯跡）

◎建物は二階と平家の二棟二軒

◎御座敷は六疊敷九ヶ所、四疊半敷三ヶ所、八疊敷二ヶ所及大廣間臺所付

◎位地は平地より五間程高く後山、前は大洋に面し鹽谷崎の燈臺、新舞子等を目下に見渡し青海原には真帆片帆の行きかう様子の如くである。

◎御希望ノ御方へ電話四倉百拾番

◎豊田宛ニ申込下サイ

### 集募徒生

本校は青年學校令に基き社會の趨勢と地方の情勢とに鑑み實業に従事せんとする者に對し商業、水産に關する智識技能を授け徳性を涵養し時勢の要求に應ずる青年を教養す。

（卒業生の就職頗る良好なり）

◎募集第一學年（修業三年）五拾名

◎申込三月二十日迄（開始四月一日）

◎尚詳細は學校後附承知せられたし

石城郡四倉町水産青年學校

### 集募徒生

本校は青年學校令に基き社會の趨勢と地方の情勢とに鑑み家庭の子女として主婦として必要なる裁縫、手藝、家事等の智識技能を授け徳性を涵養し時勢の要求に應ずる婦女子を教養す。

◎募集普通科一年（修業三年）尋常小學校卒業者

◎募集本科一年（修業三年）普通科修了者高等科卒業

◎募集研究科（修業二年）本科修了者又は

◎申込四月一日迄（開始四月五日）

◎尚詳細は事務所四倉小學校に就き承知せられたし

石城郡實踐女子青年學校

### 専門 上田外科

平町南町  
電話一二九番

回入院應需

### 待望の

### オールズモビル號

愈々入車しました  
此程大車したダツチフラーズ號及びシボレー號に續いて高級車オールズモビル號が入車しました、あく迄御客様本位の奉仕であります。  
「安全、迅速、親切、正確」が當タクシーのモットーであります。  
是非御試乗願ひます。

昭和前

電話三四三番  
三四〇番

中等教科書  
國定教科書  
豫習各種辭書  
各種全科類

小學生ランドセル  
カバン・手提類  
和洋帳簿各種

### 友

柴田書店  
平町四丁目  
電話二二四番  
三三四番

### 外科 花柳病専門

入院隨意

平町六丁目

木村外科醫院  
電話三〇九番

父隆藏儀病氣中の處本日午後四時死去致候に付此段御通知申上候  
追て葬送の儀は四月二日午後二時自宅出棺  
當町性源寺に於て佛式に依り相替可申候  
昭和十二年三月廿九日

男 坂本 泰藏  
全 坂本 昌藏  
親 坂本 新右衛門  
總代 諸橋 久太郎  
友人總代 青沼 鋒太郎

當組合監事坂本隆藏殿病氣中の處本日午後四時死去被遊候に付此段謹告任候  
昭和十二年三月廿九日  
有限責任信用組合  
平庶民金庫

### 吉田眼科醫院

平町紺屋町（電話六八番）

### 看護婦の派出は

迅速親切に取計らひます

尚ほ見習看護婦は家政婦同様の料金で派出し病家の御便宜を御計り致します。

平町一丁目  
石城派出看護婦會  
鷹崎 千代  
電話三五七番